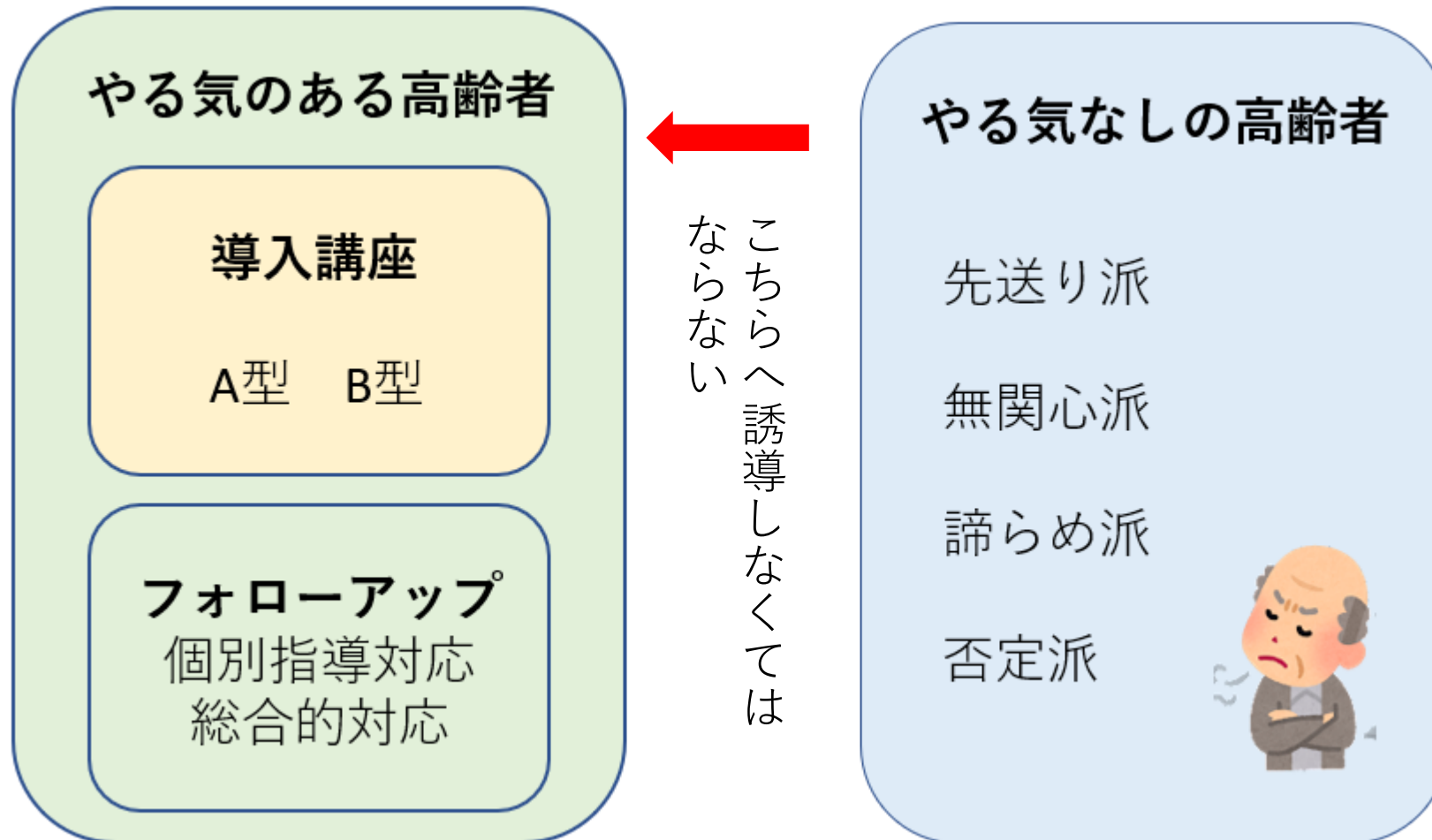


高齢者のリテラシー向上策の分類

現在は導入講座がはじまっている段階（A型ショップ委託、B型その他）



役割分担

中央官庁

- 高齢者デジタル化推進全般についての総括
 - ・全体構想・個々のアプリの意味・意義等のシロウト向け解説ビデオ制作（知らない人・消極的な人向け）
 - ・共通教材制作
 - ・推進員募集・推進員の事前研修（自治体と協力して）
 - ・全国の推進員の交流広場（ノウハウ・悩み共有）運営
 - ・地域の初心者交流サイト（作品投稿・孤独解消）の準備

自治体

- 地域での推進全般の運営
 - ・推進員募集・事前研修（中央官庁と協力して）
 - ・受講生募集・場所の確保等の講習運営事務
 - ・地域の初心者交流サイトの運営
- 他の部門との協働
 - ・生涯学習課・高齢者福祉課

フォローアップ体制

勉強会型

ワクチン接種
オンライン申込
特別講座

個別対応型

スマホ相談会
第一・第三木曜日
公民館1F

電話相談

今日この時間帯の連絡先

障害のある
方にも願
いする



デジタル庁サイト

あなたの「？はてな？」の
答えが見つかります。

地域の初心者交流サイト

スマホ相談室

ITなんでも
相談室

デジタルデビュー前の方向けの対策

デジタル庁の 広報活動

漫才・ドラマ等
(明るく楽しいもの)

あんた！
マイナンバー
カード無し
いうことはや
背番号無しで
マラソン大会
するようなもんや



自治体の広報活動 地元ケーブルテレビ



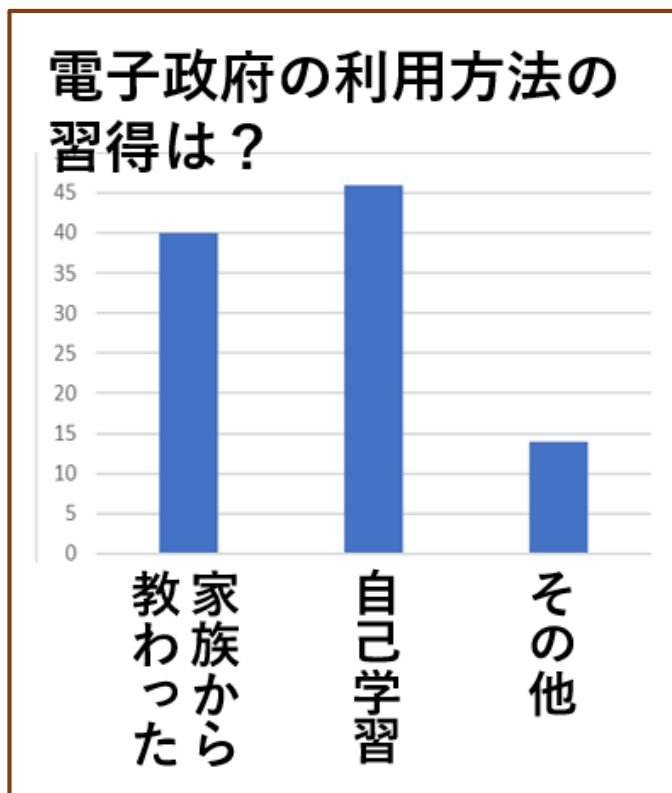
民間団体との協働

NPOによる
スマホカフェ



家族を巻き込む（例）

- Youtubeで家族向け
「親世代へデジタル機器を教えるには」
- 家族割引（高齢家族割引）
- テキスト
「老親と一緒に学ぶデジタル」



2019年、エストニア高齢者
Webアンケートより（齋藤・若宮）

他の省庁のご協力をお願いする（例）

- ・ 文部科学省 ← 生涯学習講座へのＩＴ関連科目の重点的取り上げ
- ・ 国土交通省 ← ゼネコン等が、集合住宅新築時にインターネットを一括導入した場合の税制面等での優遇策
- ・ 厚生労働省 ← 病院（含・病室）、高齢者施設等でのインターネット利用環境を整備し、患者の利用を許可する。

デジタル庁全体の取り組みのなかで

- ・一般市民が使用するアプリ等は、
制度設計の段階から
デジタル化に馴染みやすいものとする。
- ・アプリ等の公開前に複数の高齢者により事前に
「引っかかる場所」「つまづく場所」
を指摘してもらう。
- ・公開後「利用対象者数」「ダウンロード数」
「利用者数」「年代別利用者数」
等をチェックし、関連部門と共有する。



将来へ向けての問題

- ・「情報」についての認識が、他国に比して薄い。
（操作手順、コーディングなど「方法論」に偏りがち）
初等教育から「情報学」や「コンピューターサイエンス」
をしっかり教えるべきと思います。
- ・当面は「スマホ一辺倒」でもやむを得ないが、
スマホは高齢者には非常に使いにくい機器。
外出の機会の少ない高齢者にはコンパクトである必要はない。
AIスピーカー系など高齢者にふさわしい情報端末も推奨
する他、新たな高齢者向けの機器も考案すべき。

双方が歩み寄ること



オードリータンさんへ伺いました。
デジタルに近づきたがらない高齢者へ、
どんな方法でアクセスしておられますか

高齢者も参加するプロジェクトについては

- ・ 極力、多くの年代の高齢者から意見を聴く
- ・ 「その理由」をしっかりと確認する
- ・ なるほどと思ったことで、実現可能な事項は、直ちに実行・改善に反映させる。

そうすると、関わった高齢者の口コミも含めて
「自分と同年代のひとの意見が取り入れられている」
と感じ「押し付けられた」とは思わなくなり
協力を得やすくなる。